

第7 次郭発掘地 調査区



シートによる遺構面の養生の状況

小牧山城

はっくつかわら版

最終号

20150327

埋戻し作業まもなく完了!



土嚢による石垣保護の状況

春の訪れとともに小牧山の桜もまもなく開花します。主郭北東斜面の調査区では全ての調査、記録作業が完了し、埋戻し作業を実施中です。埋戻しに先立ち、確認したお城の面（遺構面）や検出した石垣などを土嚢と養生シートで保護しました。これは、将来計画されている史跡整備工事で再度この箇所

を掘削する際に誤って城郭の遺構や石垣を傷めないようにするとともに、雨水などの影響を最小限に抑えるために行うものです。

お城の遺構や石垣は露出することにより風雨などの影響で劣化が進んでしまいます。それを防ぐには土で覆うこと、つまり埋戻すことが最善の方法なのです。せっかく掘ったのにもったいないようにも思えますが、貴重な石垣、信長の城郭を後世に正確に守り伝えていくためには必要な保存処置なのです。

小牧山城に来訪される多くの皆様のご理解・ご協力により、今年度の調査を無事に終えることが出来ましたことを、担当者・作業員一同、心より御礼申し上げます。調査の終了に伴い、13号にわたり掲載しました今年度の『はっくつかわら版』も今号で最終号とさせていただきます。ご愛読ありがとうございました。



ご協力ありがとうございました
また来年度お会いしましょう!